

世界防災閣僚会議in東北 World Ministerial Conference on Disaster Reduction in Tohoku

～世界の英知を被災地に、被災地の教訓を世界に～

～Joint Endeavors for Solutions: Wisdom of the World to the Disaster-Affected Areas, Lessons of the Disaster-Affected Areas to the World～

Sendai International Center 3-4 July 2012

ポイント

(1) 63か国・14国際機関の代表を含め約500名が参加。

(2) 「**21世紀型の防災**」を東北から世界に向けて発信。

→ **防災の主流化・強靱な社会**の構築。

→ **人間の安全保障**の重要性(子ども, 高齢者, 障害者, 女性への配慮)

→ **ハード・ソフト**を組み合わせた**防災力の最大化**

→ **幅広い関係者**の垣根を越えた**連携**

→ **気候変動・都市化等の新たな災害リスク**への対処

評価

(1) **2015年に向けた国際的議論の土台**を日本主導で作った。

→ **ポストMDGs**に日本アジェンダである防災を位置付け(開発における防災の主流化)

→ 真に有効な**ポスト兵庫行動枠組**の策定(会議の成果を活用)

→ **第3回国連防災世界会議**のホストを表明(多くの国が支持)

(2) 途上国代表が、**被災地の復興する姿**を目の当たりにし、改めて日本への尊敬を新たにした。

→ 岩手県一関市, 宮城県石巻市, 福島県福島市で分科会。視察も実施。

(3) **サイドイベント**で各セクターの防災関係者も自らの取組を発信。

→ 民間, 市民団体, 地方自体を含め多様な展示・講演会。「**フルキャスト**」の取組の重要性を強調。

(4) 日本の関係省庁・自治体も積極的に発信・サイドイベントに参加。

→ あらゆるレベルの政策で防災を考慮する「**防災の主流化**」の実践。

(5) 日本が防災を主導する決意を表明。30億ドルの資金コミットメント。

→ **日本の防災技術**を世界で役立て, 世界の防災力強化に貢献。